親子自然体験教室「イノシシ大解剖！やっかいもののヒミツをさぐれ！」
実施報告

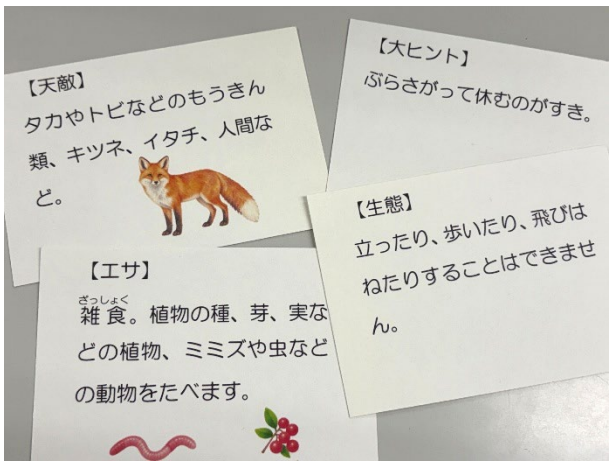
実施日時：2026 年 10 月 31 日（土）10：20～15：40
場　　所：広島県呉市川尻町　野呂山ビジターセンター
講　　師：岡田　芳幸　氏、木村　勝美　氏（広島県猟友会呉地区支部）
参 加 者：９家族 22 名（大人：９名、子供：13 名）
天　　候：晴れ・曇り
内　　容：田畑を荒らしたり人に危害を加えたりするなどやっかいものとされるイノシシ。昨今、瀬戸内海周辺でも生息域を拡大させ、豚熱やダニの運び屋になるなど人の暮らしに最も影響を与えている生き物の一つです。
当該行事では、イノシシの痕跡探しや罠の種類、解体作業を通して、イノシシとはどんな生き物なのか？どんな問題があるのか？野生生物とどうつきあっていけばよいのか？など親子で考えることを目的に実施しました。

【実施風景】



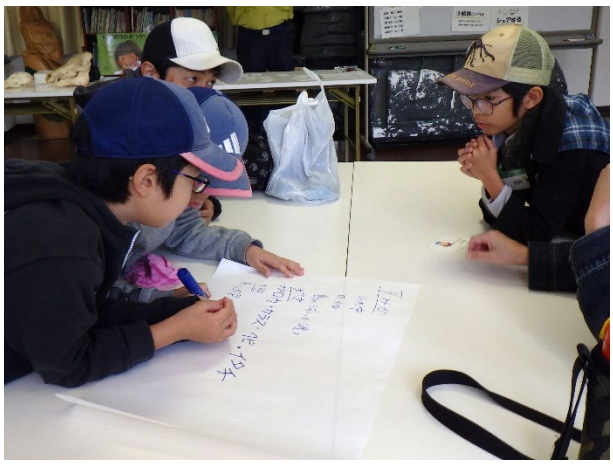
開会挨拶・オリエンテーション

「瀬戸内海国立公園って知っていますか？」と澤野自然保護官より開会の挨拶。実はここ野呂山も多島海が見られる展望地として国立公園になっています。それから、今日のねらいやスケジュール、注意事項について皆で共有しました。

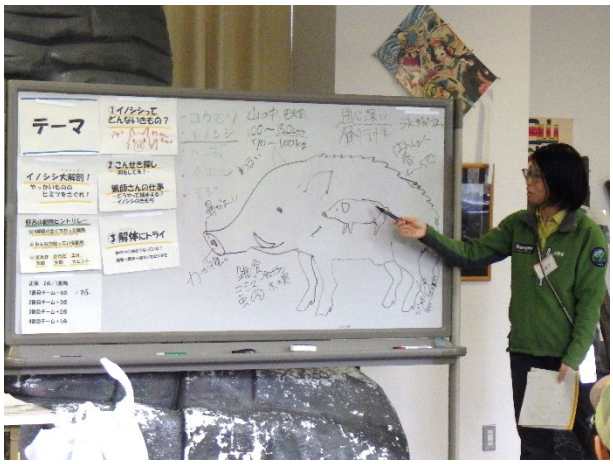


野呂山動物ヒントリレー

一般公募なので皆さん初対面。
野呂山にいる生き物が分かるアイスブレイクを班対抗で行いました。５種の生き物の「すみか」「生態」「天敵」「エサ」「大ヒント」をまぜこぜにしたカードを開いて何の生き物かを当てます。



「ジャンプが得意？カエルかバッタ？」「立ったり歩いたり飛び跳ねたりできない動物…？！」大人も子供も頭をフル回転させたかなと思います。
ですが、１種惜しい間違いがあったものの、皆さん大正解！野呂山にいる生き物や、生き物の生態を少し垣間見ることができました。



イノシシってどんな生き物？
ヒントリレーで知ったイノシシの特徴も出しつつ、実は昼行性、臆病、犬並みの嗅覚、雑食、多産、家畜であるブタとの違いなどを共有。



猟師さんの仕事や狩猟の種類
猟友会呉支部長の岡田さんには猟と有害鳥獣の違い、銃と罠、罠の種類などを教えていただきました。



イノシシの痕跡（こんせき）さがし
オリエンテーション後は、歩きながら痕跡さがしをしました。
イノシシの痕跡には何があるかな？フンや足あと、ぬた場、獣道、掘り返しなど、さあ何が見られるでしょうか。



掘り返し発見！

ビジターセンターを出てすぐ。
道路沿いの土がたまった場所に掘り返し（エサを探した跡）がありました。森である必要特になし！とにかく掘れるところは掘って、食べられるものは何でも食べます。



足跡と食べ跡

イノシシとはっきり分かる４つの蹄（ひづめ）の跡もありました。岡田さんの話では、足跡の大きさから推定 50～60kg のイノシシとのこと。また、この季節はきのこや木の実も多いため、栗の木の下を探してみると食べた痕跡も見つかりました。



囲い罠（わな）

痕跡さがしの後は囲い罠を見学。
高さ 2mありますが、この高さを登って逃げることがあるため、返しがついていました。また、大人２人以上でないと持ち上がらない扉もイノシシは鼻で持ち上げて逃げてしまうため、細工がしてありました。恐るべし、イノシシの身体能力！



罠に入ってみよう！

まずは子供たちが罠の中へ。
罠の中にあるワイヤーにあたると、扉が落ちる仕組み。実際にイノシシが入ってきたと想定して…ガシャーン！捕獲体験をしてもらいました。



箱罠

お昼を挟んで猟師の木村さんに箱罠のしくみや止め刺しのやり方も教えてもらいました。



いよいよ解体作業！まずは皮はぎ

イノシシは野生生物なので当日罠にかかるとは限りません。事前に捕獲し冷蔵庫で保管しておいた 15kg のイノシシ２頭をご準備いただきました。
皮ふと肉の間にナイフを滑らせるように少しずつはいでいきます。



猟師さんによってやり方はざまざまで、岡田さんは吊るして行います。
左側の足側から、背中側、頭側に向かって皮をはいでいきます。



さばく

皮はぎの後は関節を切ったり肉と骨を外したりして、モモ、ロース、肋骨とばらしていきます。身体のつくりが分かっていないと関節の切り外しができないため、初心者にはなかなか難しい作業です。



昨年は体力的に最後の作業までは難しかったのですが、今回は約２時間半かけて、肋骨の最後の１本まで子供たちが作業してくれました。



解体作業無事終了！

痕跡さがしから始まり、イノシシの捕まえ方に解体の仕方まで、イノシシづくしの一日でした。

今回ショートバージョンだったので、問題や命をいただくまで深掘りできませんでしたが、身近にいる野生生物や人との関わり方について親子で考えるきっかけになっていれば嬉しいです。

皆さん、お疲れさまでした！